

第130号

ひこね 市議会だより



平成27年5月臨時会
(5月20日)

平成27年6月定例会
(6月8日～6月25日)

- 5月臨時会の結果・質疑等 …… 2～4
- 6月定例会で決まったこと …… 5～11
- 議場レイアウト …………… 11
- 6月定例会の個人質問 …… 12～21
- お知らせ …………… 22

市内小学校 プール開き

インターネット中継やFacebookは [彦根市議会](#) で検索

— 決定しました —

5月臨時会で議長、副議長、監査委員を選任しました。
また、各委員会委員の構成は以下のとおりです。



監査委員
馬場 和子議員



議 長
西川 正義議員



副 議 長
矢吹 安子議員

◇委員会の構成◇

(平成27年6月8日現在)

企画総務消防常任委員会	◎安居 正倫 ○夏川嘉一郎	野村 博雄 小川喜三郎	矢吹 安子 長崎 任男	獅山 向洋 奥野 嘉己
福祉病院教育常任委員会	◎山田多津子 ○安澤 勝	赤井 康彦 西川 正義	中野 正剛 杉原 祥浩	辻 真理子 北川 元気
市民産業建設常任委員会	◎上杉 正敏 ○山内 善男	馬場 和子 谷口 典隆	八木 嘉之 和田 一繁	安藤 博 小菅 雅至
議会運営委員会	◎安澤 勝 ○安藤 博	安居 正倫 谷口 典隆	山田多津子 上杉 正敏	杉原 祥浩 八木 嘉之
予算特別委員会	◎八木 嘉之 ○安澤 勝 小川喜三郎	山田多津子 馬場 和子 小菅 雅至	獅山 向洋 長崎 任男 安藤 博	中野 正剛 夏川嘉一郎 野村 博雄
議会改革特別委員会	◎谷口 典隆 ○赤井 康彦	安澤 勝 辻 真理子	和田 一繁 奥野 嘉己	山内 善男 上杉 正敏
広報広聴活性化推進委員会	◎赤井 康彦 ○山内 善男	小川喜三郎 中野 正剛	奥野 嘉己 杉原 祥浩	馬場 和子 北川 元気
広報委員会	◎安澤 勝 ○八木 嘉之	西川 正義 長崎 任男	矢吹 安子 上杉 正敏	和田 一繁 夏川嘉一郎
広聴委員会	◎安居 正倫 ○山田多津子	安藤 博 獅山 向洋	谷口 典隆 小菅 雅至	辻 真理子 野村 博雄
議会情報公開調整委員会	◎安居 正倫 ○夏川嘉一郎	野村 博雄 辻 真理子	奥野 嘉己	

※ ◎＝委員長、○＝副委員長

5 月 臨時会の結果

5月20日の5月臨時会の結果についてお知らせします。

一般会計補正予算案1件、条例関係2件、その他議案2件を原案のとおり、可決・承認・同意しました。

予算特別委員会の審査

インクルーシブ教育システム 構築モデル事業

6,500千円



障害のある子どもに対して、その状況に応じて適切な「合理的配慮（障害のある者一人ひとりに応じた個別の対応）」が提供されるための実践研究と校内体制づくりに係る事業です。本事業は文部科学省の委託を受けて実施するものです。

「インクルーシブ教育システム」とは・・・

障害のある者と障害のない者とが共に学ぶ仕組みであり、障害のある者が教育制度一般から排除されないこと、生活する地域において初等中等教育の機会が与えられること、個人に必要な「合理的配慮」が提供されること等を確保するもの。

5月臨時会の議決結果【全会一致で可決・承認・同意した議案等】

議案番号	件 名	結果
議案第47号	平成27年度(2015年度)彦根市一般会計補正予算(第1号)	可決
議案第48号	専決処分につき承認を求めることについて (彦根市市税条例等の一部を改正する条例)	承認
議案第49号	専決処分につき承認を求めることについて (彦根市国民健康保険条例の一部を改正する条例)	承認
議案第50号	彦根市固定資産評価員の選任につき同意を求めることについて	同意
議案第51号	彦根市監査委員の選任につき同意を求めることについて	同意
報告第 4号	和解をすることについて	—
報告第 5号	和解および損害賠償の額の決定について	—
報告第 6号	損害賠償の額の決定について	—

Q インクルーシブ教育システム 構築モデル事業



小川喜三郎議員

A 共通理解と共通実践を進め、学級担任が合理的配慮の観点を理解し、保護者と連携し手立てを講じていく。さらに、成果を市内の教職員に機会を捉えて広げていく。

Q 文科省のモデル事業を中学校区に拡大する目的は。

A 9年間の義務教育を見すえた小中連携は不可欠で、小学校と中学校が共通認識に立ちシステム構築を図ること。

Q 取組からの課題は。

A 一緒に学ぶ交流学習では、補助員がいると的確な支援により自分でできることが増えたが、いない場合には難しいこともあり、配置を含めた支援体制が必要。また、これまでに特別支援学校との連携が十分機能しなかったことがあり、今後幅広い視点から意見を伺い事業の充実を図る。

Q 教職員の学びべき点は。

A 特別支援教育の視点に立ち充実していく



▲モデル校の1つの高宮小学校

谷口典隆議員の動議により、緊急質問が提出されました。

Q 市長は、平成27年5月9日に開催された自治会長会議において唐突に「彦根駅東口に国の機関を集積し、官庁街として整備を進めたい」と発言されたが、その意図と構想は。

A 今後の人口減少や少子高齢化社会への対応のため、本市では立地適正化計画を策定し、コンパクトなまちづくりを目指そうとしている。官庁街という表現は、国の機関や商業、医療、福祉施設などが含まれる複合ビルをイメージしたもので、彦根の新たな玄関である駅東地区をにぎわいのあるまちにしていきたいとの思いで発言した。

Q 市長の発言により、地権者は期待をする。空地のまま誘致を待つことも考えられ、にぎわいのあるまちづくりの観点から疑問を感じるが、どうか。

A 今も空地が目立つため、目標設定することで土地の活用が進むことを期待している。

※1 動議とは

一定のことからを議題にすることを求める議員の提案のこと。動議として成立するためには、会議規則により2人以上の賛成者が必要とする。

※2 緊急質問とは

質問が緊急を要するときその他真にやむを得ないと認められるときに議会の同意を得て行う質問のこと。

6 月 定例会の結果

6月25日に閉会した6月定例会の結果についてお知らせします。

一般会計補正予算案など予算関係は4件、「彦根市市税条例等の一部を改正する条例案」など条例関係22件、その他議案3件を審査し、予算1件は修正可決、その他は原案のとおり可決および同意しました。

また、諮問6件は適当と認め、請願は提出された2件を不採択とし、意見書1件は否決しました。

消防署本署の消防車両を更新

新型救助工作車と 災害対応特殊化学消防ポンプ自動車を更新



▲災害対応特殊化学消防ポンプ自動車

消防署本署の救助工作車が配備から14年が経過、また化学消防ポンプ自動車が配備から17年が経過したことにより、消防活動等に支障をきたすおそれがあるため、また複雑化かつ多様化する災害への対応に万全を期するため、救助工作車は新型に、化学消防ポンプ自動車は災害対応特殊化学消防ポンプ自動車に更新します。

消費税および地方消費税の税率引き上げ等に対応するための使用料等の改正

産業廃棄物の処理について、近年の電気料金の値上げや燃料費の上昇などによる経費の増加ならびに、平成26年4月1日に行われた消費税および地方消費税の税率引き上げに対応するため、平成27年10月1日から一般廃棄物の処理手数料を引き上げるものです。

一般廃棄物	処理手数料	一例：焼却場搬入の場合20キログラムまでごとに260円→340円 など
-------	-------	-------------------------------------

平成26年4月1日に行われた消費税および地方消費税の税率の引き上げに対応するため、平成27年10月1日から公民館等の使用料や道路占用料等の改定をするものです。

【 一 例 】

荒神山自然の家	宿泊料 施設使用料	一例：宿泊料（市内の団体で一般の場合） 1,000円→1,020円 など
---------	--------------	--------------------------------------



▲荒神山自然の家

【賛否が分かれた議案・審議結果】（○：賛成 ●：反対 —：議長）

議案番号	件名	結果	谷口 豊隆	獅山 向洋	北川 元氣	夏川 嘉一郎	辻 真理子	小川 喜一郎	赤井 康彦	安藤 博	八木 嘉之	矢吹 安子	和田 一繁	野村 博雄	杉原 祥浩	小菅 雅至	上杉 正敏	中野 正剛	山内 善男	山田 津子	奥野 嘉巳	長崎 任男	安澤 正勝	安居 正備	西川 正義	馬場 和子	
議案第52号	平成27年度(2015年度)彦根市一般会計補正予算(第2号)	修正可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○	
議案第56号	彦根市市税条例等の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○
議案第57号	彦根市廃棄物の処理および清掃に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○
議案第58号	彦根市荒神山自然の家の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○
議案第59号	彦根市子どもセンターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○
議案第60号	彦根市公民館の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○
議案第61号	彦根市民会館の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○
議案第62号	ひこね市文化プラザの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○
議案第63号	彦根市高宮地域文化センターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○
議案第64号	みずほ文化センターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○
議案第65号	彦根市民体育センターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○
議案第66号	彦根市地域体育館の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○
議案第67号	彦根市立学校運動場照明設備の使用に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○
議案第68号	彦根市男女共同参画センターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○
議案第69号	ひこね燦ばれすの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○
議案第70号	彦根市農村環境改善センターの設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○
議案第73号	彦根市公園条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○
議案第74号	彦根市駐車場の設置および管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○
議案第75号	彦根市自転車駐車場条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○
議案第76号	彦根市自転車等の放置の防止に関する条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	—	○
会議案第 3号 (議案第52号関連)	平成27年度(2015年度)彦根市一般会計補正予算(第2号)修正案	可決	○	○	○	●	○	●	●	●	●	●	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	●	●	—	○
請願第 3号	子どもの医療費助成制度の拡充を求める請願書	不採択	●	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	—	●
請願第 4号	集団的自衛権の行使を具体化する法案の慎重審議を求める請願書	不採択	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	—	●
意見書案2号	安全保障法制に関わる意見書案	否決	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	—	●

議案等の審査結果

6月定例会の議決結果【全会一致で可決・同意した議案等】

議案番号	件名	結果
議案第53号	平成27年度(2015年度)彦根市立病院事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第54号	平成27年度(2015年度)彦根市水道事業会計補正予算(第1号)	可決
議案第55号	彦根市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例案	可決
議案第71号	彦根市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例案	可決
議案第72号	彦根市準用河川に関する占用料条例の一部を改正する条例案	可決
議案第77号	財産の取得につき議決を求めることについて	可決
議案第78号	財産の取得につき議決を求めることについて	可決
議案第79号	彦根市公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
議案第80号	平成27年度(2015年度)彦根市一般会計補正予算(第3号)	可決
諮問第 1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適当と認める
諮問第 2号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適当と認める
諮問第 3号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適当と認める
諮問第 4号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適当と認める
諮問第 5号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適当と認める
諮問第 6号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	適当と認める
報告第 7号	平成27年度(2015年度)一般財団法人彦根市事業公社の事業計画について	—
報告第 8号	第28期彦根総合地方卸売市場株式会社の事業計画について	—
報告第 9号	第19期株式会社夢京橋の事業計画について	—
報告第10号	第13期株式会社四番町スクエアの事業計画について	—
報告第11号	平成26年度(2014年度)彦根市繰越明許費繰越計算書について	—
報告第12号	平成26年度(2014年度)彦根市事故繰越し繰越計算書について	—
報告第13号	平成26年度(2014年度)彦根市水道事業会計予算繰越しについて	—
報告第14号	督促異議の申立てのあった支払督促の申立てに係る訴えの提起について	—
報告第15号	損害賠償の額の決定について	—

平成27年度一般会計補正予算（第2号）のうち、 本庁舎耐震化整備事業に係る予算を減額する 修正案を可決しました

本庁舎耐震整備事業の経過

平成24年 9月議会…本庁舎耐震化工事に係る実施設計（耐震工法）の予算を可決。

平成25年12月議会…現市長から「耐震工法による工事を見直したい」との発言があった。

議会としては「明確な方向性を示すとともに、直ちに耐震補強工事に着手することを求める」決議を全会一致で議決。

平成26年 3月議会…学識経験者の参画による彦根市庁舎耐震化整備検討委員会を立ち上げる予算を可決。

平成26年12月議会…制震工法による実施設計の予算を可決。

ただし、議会としては「耐震補強のできていない市民会館にある部局の執務スペースを本庁舎に確保するため、本庁舎の増築を行うこと」など5項目の付帯決議を賛成多数で議決。

6月定例会における議論

6月18日 予算特別委員会にて 3億7,487万1千円を含む原案を可決

本庁舎耐震工事を行うにあたり、工事期間中の来庁者の安全確保と本庁舎の機能維持を図るため、工事期間中に使用する仮設庁舎の整備や移転に係る支援業務等を委託するための経費について審議しました。

なお、この予算を減額する修正案が提出されましたが、賛成少数【委員11人中5人（委員長は採決に加わらない）】で否決しました。

6月25日 本会議にて 3億7,487万1千円を減額する予算案を修正可決

会議案第3号として、本庁舎耐震化整備に係る関係予算を減額する修正案が一部の議員から提出され、賛成多数【議員23人中12人（議長は採決に加わらない）】で可決しました。

修正案に対する賛成討論

付帯決議は一部しか履行されておらず、職員や市民の意見を反映できていないまま、耐震化工事を進めるわけにはいかない。

原案に対する賛成討論

様々な議論はあるが、来庁者や職員の安全を考えると、一日も早く耐震化工事に着手すべきであり、賛成する。

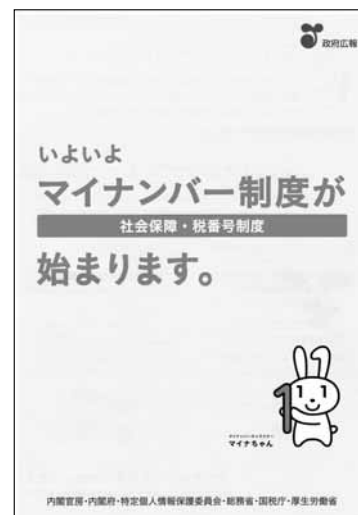
※ 議会における予算案の修正とは…

予算を提案する権利は市長にありますが、議会は提案された予算を審査した上で、その予算を減額することができます。

番号制度対応事業

4,052万円

平成27年10月5日に施行される個人番号制度について、地方公共団体情報システム機構に、個人番号カードに関連する事務を委任するため、また各種証明等のコンビニ交付サービスを住民基本台帳カードから個人番号カードに切り替えるためにシステムを改修するための経費です。



がん検診事業

1,902千円

子宮頸がんおよび乳がん検診について、平成21年度から無料クーポン券を配布して受診勧奨を行ってきましたが、国の補助金を活用し、検診未受診者に対して再勧奨を行い、受診の促進を図るための経費です。

《対象者の範囲》

子宮頸がん検診・乳がん検診の無料クーポン券を配付したことのある右記の方のうち、過去5年に検診を受けていない方です。

	生 年 月 日
子宮頸がん検診 対象： 1,819人	平成元年4月2日～平成2年4月1日
	昭和59年4月2日～昭和60年4月1日
	昭和54年4月2日～昭和55年4月1日
	昭和49年4月2日～昭和50年4月1日
乳がん検診 対象： 1,818人	昭和44年4月2日～昭和45年4月1日
	昭和39年4月2日～昭和40年4月1日
	昭和34年4月2日～昭和35年4月1日
	昭和29年4月2日～昭和30年4月1日

稲枝東幼稚園用地拡張事業

1,202万2千円

敷地が狭くゆとりがない稲枝東幼稚園の用地取得費、造成費などの経費です。



福祉病院教育常任委員会

消費税率改定に伴う使用料等の改定について

福祉病院教育常任委員会は、6月19日に委員会を開催し、9件の議案について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第59号、議案第60号、議案第61号、議案第62号、議案第63号、議案第64号、議案第65号、議案第66号、議案第67号

【主な内容】

議案審査の中で

- 議案第59号から議案第67号はすべて、消費税率引き上げに伴う施設利用料や手数料の引き上げが内容となっている。

- 利用者や市民への周知方法はどのようにするのかとの質疑に対し、「広報ひこね」やホームページを通じ、市民のみなさんに周知を図っていききたいとの答弁があった。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決。

市民産業建設常任委員会

消費税率改定に伴う使用料等の改定について

市民産業建設常任委員会は、6月22日に委員会を開催し、10件の議案、1件の請願について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第57号、議案第68号、議案第69号、議案第70号、議案第71号、議案第72号、議案第73号、議案第74号、議案第75号、議案第76号
- ・請願第3号 子どもの医療費助成制度の拡充を求める請願書

【主な内容】

- 議案第57号の彦根市廃棄物の処理および清掃に関する条例の一部を改正する条例では、処理業者と許可業者の違いについて、また変更したことにより処理に増減があるのかとの質問に対し、量には変わらないとの答弁があった。

- 議案第68号から議案第76号では、消費税の増税による使用料の改定の考え方についての質問があった。

- 議案第71号では、道路占用料の徴収先を質した。

- 議案第72号では、準用河川に対する過去の徴収事例はあるのかとの質問があった。

- 請願第3号では、紹介議員より説明があり、質疑の後、担当課に対し制度拡充にかかる財政的負担を確認する質問があった。それを受け、段階的な制度の拡充が必要であると考えことから反対するとの発言があった。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決。
- ・請願第3号は不採択。

企画総務消防常任委員会

消防力の向上と充実のための消防車両を
2台更新

企画総務消防常任委員会は6月23日に委員会を開催し、5件の議案、1件の請願について慎重に審査しました。

【審査】

- ・議案第55号、議案第56号、議案第58号、議案第77号、議案第78号
- ・請願第4号 集団的自衛権の行使を具体化する法案の慎重審議を求める請願書

【主な内容】

- 議案第55号は、著しく危険等を伴う消防業務の特殊性に配慮し、潜水作業や高所作業に対する手当を新たに支給するもの。
- 議案第56号は、地方税法等の一部を改正する法律（平成27年法律第2号）に基づき市税条例が一部改正されるもの。
- 議案第58号は、消費税および地方消費税の税率の引き上げに伴う、荒神山自然の家の使用料を改定するもの。
- 議案第77号および78号は、救助工作車および化学消防ポンプ自動車の老朽化によりこれらを更新するものであるが、適正価格や業者選定、さらには地元業者の活用等についての質問があった。
- 請願第4号は、集団的自衛権の行使を具体化する法案を慎重審議してほしい旨の請願であったが、国においてこれらの審議期間が95日間延長されたことから、当請願の願意は達成されているとの発言があった。

【結果】

- ・議案はいずれも原案のとおり可決。
- ・請願第4号は不採択。

議場レイアウト



傍聴にお越しください（傍聴席 45席）



鳥獣被害対策にICTの導入を



中野 正剛議員

Ｔの活用事例などの情報収集に努めるとともに、関係機関と協力し、国・県の補助事業の活用も視野に入れながら検討する。

Q 彦根市の鳥獣被害対策の現状と、その効果は。

A 銃器による一斉駆除および檻による捕獲を実施。集落全体で認識を共有し、「集落環境点検」を滋賀県と共に推進し、必要に応じて侵入防止柵の資材支給や追払い用火の支給を行っている。平成26年度までの捕獲数や被害額を比較すると一定の効果はあった。

Q 鳥獣被害対策にICT（情報通信技術）を導入しては。

A 獣害対策単独の実験的な取組として、遠隔操作型大型捕獲檻の設置により、捕獲の可能性や課題等のデータの収集を行っている。今後もICT



▲遠隔操作大型捕獲檻に入ったイノシシ



鳥獣被害対策にICT導入を検討する

その他の質問

- ・プレミアム付き商品券の多子世帯への優遇
- ・第3子以降のインフルエンザ予防接種を無料化に



産科医師の充実を



辻 真理子議員

今後の湖東医療圏における周産期医療のあり方について意見交換を行っている。

Q 魚沼市の産科医師招へい活動のその後の進展は。

A 昨年8月に院長自ら訪問し直接面会し、強く申し入れた。現在当該病院は再編中で、基幹病院が軌道に乗る1年程度はその病院にいてほしいと慰留されている。当面は招へいできる状態ではないが、引き続きコンタクトを持ちながら招へい活動が続けたい。

Q 産科医師の不足による市民の不安をなくすには。

A 産科医師の確保に向けて様々な取組を続けるとともに、京都大学、滋賀医科大学等の関係機関を訪問し積極的な働きかけを行うことと併せて、



▲市立病院院内助産所



幅広く産科医師招へい活動が続けている

その他の質問

- ・外堀土壘は世界遺産登録に繋がるか
- ・新公立病院改革ガイドラインについて
- ・中学校給食を開始しての問題点は

市民会館内部局の分散化により生じる弱点は



獅山 向洋議員

Q 政の問題ではない。
A 市民会館は（現在の）本庁舎よりは強度が優っている。財政を勘案して総合的に考えた。

Q 本庁舎耐震化整備事業において、市民会館内の教育委員会および上下水道部を（本庁舎に統合せず）分散化した場合、災害時にどのような弱点が生じるのか。

A 教育委員会は教育施設を避難所として開放する際の調整や学校の児童生徒に対する応急対策など、上下水道部はライフラインの復旧など、それぞれ大変重要な役割を果たす。ただし、今回の実施案は現在と位置は変わらないので災害時の対応が悪化する訳ではない。

Q 大災害により市民会館が潰れたらどうするのか。市民、職員の生命の問題であり、財

A 重要な役割を果たす部局だが対応は悪化せず



▲教育委員会・上下水道部がある彦根市民会館

その他の質問

- ・何故、本庁舎耐震化事業を選挙公約にできなかったのか
- ・何故、昨年12月市議会の付帯決議を尊重しないのか

河瀬公園の積極的な整備について



野村 博雄議員

意見を十分に聞きながら、皆様に喜ばれ利用しやすい公園となるよう努力する。

Q 河瀬公園の整備進捗状況は。
A 河瀬公園の整備進捗状況については、本年（H27年）度、公園整備区域の現況測量と基本計画策定の委託業務費として470万円の予算を確保し、その実施に向けて国への社会資本整備総合交付金の交付申請等の事務手続と、地元自治会等との調整を鋭意進めているところである。

Q 整備を進めるにあたっては、広く地元や市民の皆様からの意見を反映し、皆様が利用しやすい公園となるよう望むが。

A 河瀬公園は地域の公園であり、必要な施設の種類や配置については、地域の皆様の

A 広く地元の意見を反映し着実に進める



▲河瀬公園整備予定地

その他の質問

- ・食育という観点からの、学校給食における児童・生徒の意見の反映は
- ・市民生活全般にわたる鳥獣害対策は



市内地域毎の投資金額の資料整備を



奥野 嘉己議員

Q 市民への説明責任を果たすために資料整備を求める。
A 予算配分は事業別に行っており、そのため実務的に地域毎資料整備は困難である。

Q 彦根地域の均衡ある発展に向け（政治判断を要する大規模案件を除外した上で）、5～10年間の中長期においては、人口1人当たり累積事業費は市内各地域間の比較で大差がないことが望まれる（おおよそ2倍以内）。一方、現在は地域毎にまとめられた資料がないと承知している。今後、各種施策を検討するためにも、地域毎資料の整備が必要では。

A 法に規定されているように目的別、事業別に予算作成をしており、地域毎資料の作成はしていない。また彦根市総合計画に基づき事業選択をしている。

▶ 航空写真による彦根市全域



その他の質問

- ・稲枝駅西口周辺交通対策が必要では
- ・観光広報強化にむけ英語、中国語のホームページ更新が必要では



現状では資料整備は困難



空き家バンクの取組をすべき



赤井 康彦議員

の取組をすべきであるが
A 移住希望者への情報提供の手段としてや空き家の有効活用を図るうえで効果的であることから早期の運用開始に向けて取り組んでいく。



▲草が繁茂している空き家

その他の質問

- ・空き家解体に補助金を出しては
- ・空き地条例の制定を
- ・国体で既存施設解体時のシティマラソンや元氣フェスタは



早期運用開始に向け取り組む

Q 総務省が発表した平成25年現在の全国の空き家件数は、820万戸で空き家率13.5%。25年後には、43%になるとしているが市民の相談窓口となる空き家対策協議会を設置すべきでは。
A 情報共有および今後の空き家政策推進の方策を様々な視点から議論することは有効であり検討していく。
Q 空き家のデータベース化を考えているのか。
A 空き家の実態把握に向け検討し、データベース化についても図っていきたい。
Q 人口減少対策の一つとしても活用できる空き家バンク



「戦争法案」に反対し、
憲法を守る姿勢を



山内 善男議員

Q 今年は戦後70年の節目の年。ピースフェスタなど市民の平和の取組もされている。

核兵器廃絶都市宣言し、平和首長会議に加盟する市として平和をアピールする企画は。

A 例年の「原爆展」は、展示数を増やし、市民参加型の企画を考えている。

Q 長浜は戦争法反対の古賀誠元自民党幹事長の講演会の計画があるが、市ではどうか。

A 別の方法で検討する。

Q 歴代内閣の見解を覆し、戦争する法案を政府は提出した。米原市長は反対、長浜市長も安保法案を整備する事態だと思わないと表明。市長は市民

の安全と平和を守る責任からも反対と表明すべきではないか。

A 国の議論で意見を述べる立場にないが、市民生活に関わることから、国で議論がつくられるよう期待し、注視する。



▶市民の手で開催された平和の取組

A 国で議論がつくされるよう期待し、注視する

その他の質問

- ・職員増と予算増額で獣害対策の充実を
- ・愛のりタクシーは、一律300円に
- ・図書館建設に向けた進捗状況は



現在の在宅医療・
介護についての取組は



夏川嘉一郎議員

Q 在宅医療・介護は大きな社会的課題であり、現在の当市の取組について問う。

A 高齢者安心・安全ネットワーク（協力事業者・警察・市が連携）を県下で初めて構築し、高齢者をさりげなく見守る支援を実施。5ヶ所の地域包括支援センターは市民の身近な相談窓口となり、専門職がケアマネジメント支援や権利擁護等の業務を実施している。「くすのきセンター」は、在宅医療福祉の拠点であり、医師会をはじめ、多職種が連携し、情報共有や在宅医療のあり方等を検討。在宅医療・介護の充実を図りつつある。



▶身近な相談窓口。地域包括支援センター

Q 若者の意識改革にも取り組むべきでは。

A 在宅医療・在宅看取りの出前講座も実施しており、今後もあらゆる機会を捉え、市民啓発に取り組んでいきたい。

A 在宅医療・介護の
機関連携により充実を図る

その他の質問

- ・当市環境政策は国選定「モデル都市化」を目指すべきでは
- ・観光政策向上に、マーカーティング手法を取り入れるべきでは



老人クラブを維持するための施策について



安居 正倫議員

実践していただくことにより、活動に興味を持つ高齢者の参加を促し、老人クラブの活性化につなげていく。

Q 衰退の一途を辿る老人クラブを今一度復活させ、活性化させるために行政として取るべき施策は。

A 老人クラブ活動に参加される元気な高齢者には「支えられる側」から「支える側」に回っていただき、地域を支える重要な担い手として活躍できる環境整備を図る。

具体的には、従来担っていた活動に対する補助金に加え、介護予防等必要とされるサービスの新たな担い手として活躍いただき、その活動に必要な支援を行っていく。

こうした社会福祉活動を実



地域の担い手として活躍できる環境を整備



▲老人クラブの活動

その他の質問

- ・老人クラブの必要性について
- ・老人クラブ補助金の公平性について
- ・一〇〇歳人生を考える施策について



あらゆる財源を活用し、国保料の引き下げを



山田多津子議員

あらゆる財源を活用して国保料の引き下げをすべき。

A 今回の保険者支援制度の拡充で一定財政改善はされるが、基金繰入れも想定して今年度の料率を据え置きにした。

Q 国民健康保険は国民皆保険の土台をなす医療保険で加入者は高齢者、無職者など低所得者が多く保険料負担が重くのしかかり滞納世帯が加入世帯の2割もある。

A 国保会計の基金残高は、5億2千万円である。

Q 国が国保への基盤強化のため保険者支援制度の拡充を実施する。市への1人当たり支援見込額は。

A 前年実績から算出すると1人当たり3400円程度。

Q 京都市や名古屋、釧路市など多くの自治体で「保険者支援制度」の活用で国保料の引き下げを行っている。あ



厳しい財政下、保険料率据え置きの努力した



▲彦根市の国保に関するパンフレット

その他の質問

- ・学校給食が安心安全な食材提供と地域活性化に繋がる事業になることを求め
- ・小学校・幼稚園への一日も早いエアコン設置を



危険建築物に対する適切な指導と安全確保を



谷口 典隆議員

体が行われるまでの間、住民や通行者にとって危険な状態であることから、所有者は解体とあわせて、緊急安全対策上の措置についても工事業者と打ち合わせを行っている。

Q 大東町にある民間ビルが老朽化により、数年前から外壁が崩落するなど非常に危険な状態にある。早急な改善と対応が求められるが現状は。

A 今年5月には北東側の外壁の一部が市道側に落下した。

Q 通学路にも近いことから学校への情報提供は行ったか。

A 情報提供は行っていないが、このような事例に関して今後情報は共有したい。

Q 所有者による自主的な解体に向けた進捗状況は。

A 当該建築物の所有者から、管理責任を重く受け止め、解体する意向が示されており話し合いを進めている。なお解体に向けて所有者と話し合いを進めている



▶ 大東町にある外壁が崩落した民間ビル

その他の質問

・バス路線がない彦根駅東口への仮設庁舎建設は交通弱者に対する配慮がないのでは



拠点となる図書館の整備について



長崎 任男議員

央部に位置することが望ましいとされているが、まずは、今年度設置した図書館協議会で協議を重ねていただき、市長の任期中に基本計画策定へと進めていく。

Q 拠点図書館整備の進捗状況については。

A 7月中には1回目の図書館協議会を開催し、地域の実情を踏まえ、利用者の皆さんの要望を十分に反映した図書館運営に努めるため委員の皆さんのご意見を頂戴したい。

Q 拠点図書館の位置について人口重心や地形的な中心から大まかな位置を示すことについては。

A 人口重心や地形的な中心といった考え方もあるうかと思う。整備を検討している拠点図書館の位置については、湖東圏域内図書館整備等検討委員会の報告書で、彦根市の中



▲彦根市立図書館

その他の質問

・市の施設全般の配置計画について
・市の施設候補地でも公募を検討していくのか



図書館協議会の皆さんの意見を頂戴したい

Q 公園の現場実態から 環境の改善に努めるべき



八木 嘉之議員

Q 緑の基本計画では、近隣公園の標準整備量が16箇所だが、現在6箇所しか計画されていない。不足する公園整備は今後どう対応するのか。

A 平成28年度に緑の基本計画を改定する。より実効性の高い目標の設定を行う。

Q 開発関連で整備された公園は、老朽化が進み利用目的が失われた公園の環境となっている。このことへの認識は。

A 経年経過により、住民世代の高齢化が進み、本来の目的が失われた公園もある。良好な環境整備に努めていく。

Q 利用頻度の少ない公園については、廃止や用途変更など検討すべきではないか。

A 地元の皆様と維持管理や公園の継続を協議したうえで、場合によっては公園の廃止、用途変更および再編について判断していく。



▶ 市内の開発関連で整備された公園

A 計画見直しと実態に 応じた維持管理に努める

- その他の質問
- ・ 公共施設等総合管理計画策定のために全庁的な組織体制の確立を
 - ・ 市長が目指すまちづくりとは

Q 「子ども・子育て支援新制度」等への 取組は



小川喜三郎議員

Q (仮称)「子ども・若者支援センター」の機能や役割は。

A 社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者の相談に応じ、解決までの支援や社会参加の機会の提供、居場所の提供を想定。設置に向け体制の構築を進める。

Q 若者(20～39歳)支援のネットワークや人材育成は。

A 内閣府や県などの専門研修や検討会等に積極的に参加し、必要なスキルを習得。

Q プランにおける目標値は。

A 31年度までの保育需要に対応するため、公立幼稚園の整備更新等と併せ認定子ども園を5園整備する。また、放課後児童クラブは、条例で6年生まで受け入れることとしているので、1,372名を設定し、今後は、施設整備等により、順次6年生までの受け入れができるよう努める。



▲彦根市子ども・若者プラン

A 「子ども・若者プラン」に より推進する

- その他の質問
- ・ 仮設庁舎の市民サービスと交通安全対策
 - ・ 中央町仮庁舎の活用
 - ・ 彦根駅東土地区画整理地の官庁街構想



井伊直弼公生誕200年祭事業の進捗は



和田 一繁議員

Q 開幕を迎えた今の市長の心境は。

A 日本を開国へと導いた井伊直弼公の功績はもとより、人柄、文化人としての側面など、直弼公の人間としての魅力を全国に向けて、広く発信してまいりたい。

Q 井伊直弼公生誕200年祭の目玉事業は何か。

A 基本的には全ての事業がメイン。旅行エージェントにとっては、櫓での特別展がメインとなり、文化に興味のある方にとっては、能をテーマとした講演会やお茶、お花に関連した大名茶会・花展・夜楽それぞれがメインである。



ほとんどの事業概要が決まっている

Q 平成27年度の彦根城入山目標数値は。

A 井伊直弼公生誕200年祭を開催することから、目標人数を80万人と高い数値としている。



▶ 井伊直弼公生誕200年祭ポスター

その他の質問

- ・彦根城築城410年祭は開催するのか
- ・彦根市経済活性化委員会
- ・観光戦略専門室の設置の考えは



2060年の年少人口の将来推計は何人か



安藤 博議員

Q 彦根市における2010年の14歳以下の年少人口と2060年の将来推計人口は何人か。

A 2010年は16,555人で、2060年は9,253人となり、2010年に比べて44.1%の減少となる。

Q 年少人口が減少することは、長期的な観点からも負のスパイラルに落ち込むこととなる。子どもを産み、育てる環境改善を早急に実施する必要があるが、今やらなければならぬ対策は何か。

A 年少人口の減少に直接寄与する施策として不妊治療費の助成があるが、子育てをし



14歳以下の年少人口は9,253人

彦根市の人口と世帯			
平成27年 5月現在		前月との比較増減数	
総数	112,567人		- 89人
男	55,535人		- 75人
女	57,032人		- 14人
世帯数	45,644世帯		- 74世帯

▲人口減少に突入した彦根市

その他の質問

- ・全会一致で採択された「彦根市内にホッケー専用プレイフィールドの整備を求める請願書」に対する市長の見解は

ている親世代に対し、経済的要因や年齢・身体的不安を解消すること、夫の育児参加の啓発等、様々な負の要因を取り除く施策を、総合戦略の策定の中で検討していく。



県内最古の焼却施設を 今後どう運営するのか



安澤 勝議員

持していく。焼却場の中長期整備計画に基づき、安全で安定した焼却が継続できるように、適正な設備・機器の整備および徹底した運転管理をしていく。

Q 県内最古の老朽化した焼却施設を今後どのように管理運営していくのか。

A 現焼却施設は、当初の竣工から38年と相当な年月が経過しているが、平成13年3月に焼却施設の大規模な改良工事を竣工したことにより機能を回復している。また、ダイオキシン類対策を含めた高度な排ガス処理施設を設置している。新施設が稼動するまでの間、処理を継続していくことは可能であると考えているし、継続していかねばならない。

今後は、新施設が稼動するまでの間、現施設を適正に維持していく。



今後継続して使っていかなければならない



▲県内最古の焼却施設と今回故障したDCS

その他の質問

- ・有害鳥獣対策について
- ・公共工事品質確保法とその関連法の改正について



教科書採択は不透明であり、 情報公開すべき



北川 元気議員

A 今後、彦根市だけでなく1市4町の教科書採択協議会で協議をしながら取り組んでいく検討課題である。

Q 来年春から中学校で使われる教科書が、8月末までに採択されるが、その不透明な教科書採択が全国で問題になっている。彦根市教育委員会教科書採択における情報公開の現状は。

A 結果のみを公開し、協議会委員の氏名や議事録、調査資料については開示請求の対象である。また、調査員は、公正、公平かつ適正な調査研究ができる環境を確保するため非公開としている。

Q 情報公開は文科省も通知しているところであるが、教科書採択に関わる情報は市民に信頼される形で公開される



▲中学校教科用図書



今後、協議会で 取り組むべき検討課題

その他の質問

- ・道徳教材を家庭に持ち帰らせない実態は
- ・年金機構の個人情報流出事件の見解は
- ・情報セキュリティの予算に対する見解は



子ども・若者に対する支援強化を



上杉 正敏議員

Q 子ども・若者の「居場所づくり」を。

A 社会生活を営む上での困難を有する子ども・若者への支援を強化するために多様な相談体制の連携の充実を図り、子ども・若者の居場所としての機能を併せ持つ「(仮称)彦根市子ども・若者支援センター」の設置に向け体制の構築に積極的に取り組んでいく。

Q 放課後子ども教室実現に向けての取組は。

A 放課後の子どもの居場所づくりとして、これまで年々増えている放課後児童クラブの入会希望者の受入れに伴う施設整備や運営内容の充実に

努めてきた。今後も引続きサービスの上昇に努めると共に、国の「放課後子ども総合プラン」や保護者のニーズも踏まえて、放課後子ども教室の実施について検討していく。



▲市民会館内にある彦根市少年センター

その他の質問

・文化財の保存に伴う
防犯設備や消火設備
の充実を



子ども・若者の居場所づくりをめざす

議員表彰



全国市議会議長会会長から馬場和子議員が10年表彰を受けられました。

子ども議会を開催します

今年も下記の日程で子ども議会を開催します。

市内小学校に通う6年生の児童が、子ども議員として発言します。ぜひ傍聴にお越しください。

開催日：平成27年11月7日(土)
午前9時15分～午前11時15分
場 所：彦根市役所5階本会議場



昨年の子ども議員のみなさん

HIKONE
CITY
COUNCIL

第3回 彦根市議会

議会報告会

どなたでもご自由にご参加いただける議会報告会では彦根市の重要課題や予算の使われ方など議会での議論の過程や結果を市議会議員が説明いたします。どうぞお近くの会場までお気軽にお出かけください。皆様のお越しをお待ちしております。



©彦根市

日時

8/3

月曜日

P.M 7:00

P.M 8:30

会場

彦根市役所5階
本会議場

元町4番2号

当日出席する担当議員

安居正倫・山田多津子・谷口典隆・獅山向洋
辻真理子・安藤博・野村博雄・小菅雅至

日時

8/18

火曜日

P.M 7:00

P.M 8:30

会場

河瀬地区公民館2階
大会議室

森堂町131番地

当日出席する担当議員

安藤博・野村博雄・夏川嘉一郎・赤井康彦
矢吹安子・和田一繁・山田多津子・馬場和子

日時

8/18

火曜日

P.M 7:00

P.M 8:30

会場

中地区公民館
大会議室

大藪町2610番地

当日出席する担当議員

谷口典隆・小菅雅至・小川喜三郎・中野正剛
山内善男・奥野嘉己・安澤勝・西川正義

日時

8/19

水曜日

P.M 7:00

P.M 8:30

会場

彦根市民会館2階
第2会議室

尾末町1番38号

当日出席する担当議員

辻真理子・獅山向洋・北川元氣・八木嘉彦
杉原祥浩・上杉正敏・長崎任男・安居正倫

お問い合わせは彦根市議会事務局まで。TEL.&FAX.0749-22-0906

編集後記

さて、6月定例会では、新人議員を含め19名が一般質問を行い、市役所本庁舎の耐震事業をはじめ、幅広い分野において議論が伯仲しました。定例会等の内容について、紙面を通してわかりやすくお伝えできるよう努めてまいります。

皆さまのご意見をお待ちしております。

広報委員会

4月に執行された統一地方選において市民の皆さまの負託を受けた第20期市議会議員24名が、4年間の議員生活にスタートを切りました。二元代表制のもと、行政のチェックとともに政策提案をしつかりと行い、皆さまの安心で安全な生活を守り、福祉の充実において全力で取り組みます。

本会議・委員会の日程（予定）

月 日	内 容	時 刻
9月 7日 (月)	開 会	9:00
9月14日 (月)	代表質問 個人質問	9:00
9月15日 (火)		
9月16日 (水)		
9月17日 (木)	予 算 特 別 委 員 会	9:30
9月18日 (金)	市民産業建設常任委員会	9:30
9月24日 (木)	企画総務消防常任委員会	9:30
9月25日 (金)	福祉病院教育常任委員会	9:30
9月29日 (火)	本 会 議	9:00
10月 7日 (水)	決算特別委員会	9:30
10月 8日 (木)		
10月 9日 (金)		
10月15日 (木)	閉 会	9:00

ひこね市議会だより第130号
平成27年8月1日発行

編集：広報委員会 発行：彦根市議会 彦根市元町4番2号
電話：0749-30-6130（ダイヤルイン） FAX：0749-22-0906

ひこね市議会だより 第130号 22

※この広報紙は50,000部作成し、1部当たりの印刷単価は14円（1円未満切捨）です。